

第3回 中等日本語教育授業教案コンテスト

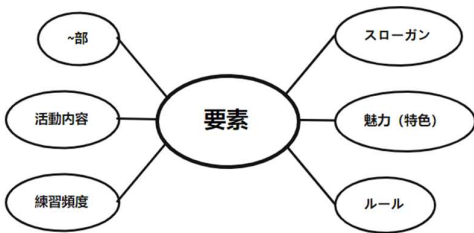
教 案

【注意事項】

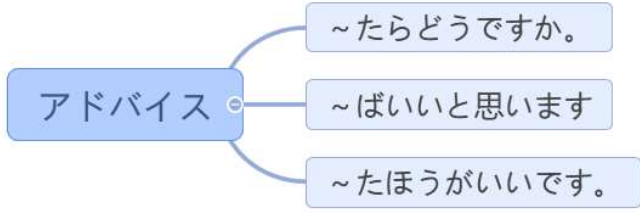
※項目は全て埋めてください。

※実際のクラスを想定しながら、学生に対する指示や説明、やり取りの言葉など詳しく書いてください。

※授業時間は、1 コマ 40～45 分です。 ※教案は日本語で書いてください。

学校名： 上海市甘泉外国語中学		姓 名： 沈 洋		
使用教科書：日本語（人教社 2019 年版 第一冊）第 2 課（全 7 コマの内、本教案は 6 コマ目）（例）第 5 課の授業を 7 回に分けて、この授業を 3 回目にする場合 ⇒第 5 課 全 7 コマの内、本教案は 3 コマ目 1 コマ 40 分 【要選択】（ 高校 ・ 中学 ） 1 年 クラスの人数 28 人 【要選択】 第一外国語 第二外国語 課外活動 その他（ ） 日本語学習歴 4. 5 年				
この授業の到達目標 グループのメンバーと協同で、日本人留学生に学校の代表的な部活を紹介することができる。また、留学生達からの質問に答え、彼らが抱えている不安や心配にアドバイスを与えることができる。				
この授業の学習項目（実践の授業のため、学習項目は既習済です） 1. 部活を紹介する時の要素（活動内容、スローガン、練習頻度、ルールなど）（参考例） ● ～部は主に～をしています。 ● ～部は週（月）に～回練習します。 ● ～部の一番の魅力は～というところです。 ● ～部では、～をしてもいいです。 ● ～部では、～をしてはいけません。 2. アドバイスを与える時の表現（参考例） ● ～ばいいと思います。 ● ～たらどうですか。 ● ～たほうがいいです。				
時間	段階 (流れ)	練習・活動の内容（詳しく書いてください）	練習・活動の目的	注意点・使用するもの
5 分	復習と導入	T:みなさん、この前は部活を紹介する要素について勉強しましたね。ちょっと振り返りましょう。部活を紹介するとき、どんな点で説明していきますか。 （学生が答える） （学生からの回答を黒板に書く。） 	①本文の勉強は全部終わったので、復習を通して、学生に既習した内容を思い出させる。 ②学生の回答は本文と全く同じでなくても大丈夫、学生の回答から使えそうな文	①アドバイスに関して、学生がテキストと全く同じな文で答えなくても、構いません。重要なのはどのような表現があるかを思い出させること

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

		T:また、三田さんの不安についてどんなアドバイスを与えましたか。 S1:ゼロから学べばいいと思います。 T:そうですね。～ばいいと思います。 (下線部を模造紙で提示し、黒板にはる) 他にはどんなアドバイスがありますか。 S2:せっかく中国にいますから、日本にも他の国にもないものを体験したらどうですか。 T:すばらしい。～たらどうですか。 (下線部を模造紙で提示し、黒板にはる) また、どんな助言が出ましたか。 S3:部活のことは、武術に詳しい友達と話し合って決めたほうがいいでしょう。 T:よくできました。～たほうがいいです。 (下線部を模造紙で提示し、黒板にはる) (注：部活を紹介する要素やアドバイスについては、マインドマップという形で板書と模造紙で提示する) 	型を取り出す。 ③模造紙で文型を提示し、マインドマップで部活を紹介する流れをまとめる。それが後ほどの発表に繋がる。	と。 ②部活を紹介する要素やアドバイスの表現は既習したので、模造紙を事前に準備しておく。 板書のデザインを前もって考える。
30分	本作業	1. 場面設定 (3分30秒) T:皆さん、この前の授業で見た「エリンが挑戦、日本語できます」の「部活」のビデオから、日本の学生はどれほど部活に熱心に励んでいるのか分かりましたよね。実は、毎年、何十人の日本人留学生がうちの学校に入っています。新人である彼らも部活について、どの部活にするかなど、三田さんのような心配や不安を抱えています。 実は、先生は事前に5人の学生に我が校の日本人留学生にインタビュー調査を行ってもらいました。 では、ビデオを通して、留学生の声を聞きましょう。 ➤ ビデオを流す (2分30秒) (ビデオの内容：①どんな部活があるか。②部活の活動内容。③練習時間。④応募要件。⑤どんな魅力的なところがあるか。⑥部活のルール。⑦自分の疑問や心配など) 2. タスクの説明とグループ分け (3分30秒)： T:皆さん、どうでしたか。まず、うちの学校を代表で	身近にある、現実の課題を出し、学生たちに日本語を使って、実際の問題を解決する能力を身に付けさせる。また、それによって学生たちの学習の達成感を高める。 インタビューは学生に同年代の日本人と本当のコミュニケーションの機会を作るためである。 同じ学校の日本人留学生に対するインタビューは学生たちの好	事前にインタビューの動画を取っておく。

	きる部活についてですが、何部だと思いますか。 S4：バスケ部。 …（簡単なやり取り） T:では、先生から説明します。実は「問巻星」でアンケート調査を行った結果、7位までに選ばれたのはそれぞれ、サッカー部、武術部、野球部、フェンシング部、エアロビス・ダンス部、将棋部、カルタ部だといことが分かりました。 （pptでそれぞれの部活の写真を提示する） どうですか。皆さんが所属している部はありますか。 ➤ では、4人で一つのグループを作って、さっきの7つの部からひとつ選んで紹介し、留学生たちからの質問に答え、彼らが抱えている不安や心配にアドバイスを与えてください。黒板に貼ってあるマインドマップを参考にしてくださいね。 （注：もし選んだ部活が重なった場合は、<u>抽選</u>で紹介する部活を決める） グループはもう決まりましたか。 ➤ では、やりかたを説明します。（pptで提示） ①まず、役割分担を決めてください。話し合いの全般を把握する司会進行を担当する人や書記、つまりグループで討論の内容を記録する人を決めてください。 ②グループで討論した結果をポスター（討論の間に配る）にまとめてください。 ③最後の発表者は先生がランダム的に選びますので、全員、積極的に討論に参加してください。 ④発表の時、評価シートに記入してください。 （下記は簡略版で、詳細は添付の評価シートをご参照ください） <table><tr><th rowspan="2">評価要素</th><th rowspan="2">組</th><th colspan="4">レベル</th></tr><tr><th>目標を超えた</th><th>目標に達した</th><th>目標に近い</th><th>もう少し努力が必要だ</th></tr><tr><td>言語</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>臨機応変</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>インストラクション</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>礼儀</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 3. <u>ディスカッションとポスター作成</u>（15分） （教師が学生の間を周りながら、質問に答えたり、適当に助言を与えたりする）	評価要素	組	レベル				目標を超えた	目標に達した	目標に近い	もう少し努力が必要だ	言語						臨機応変						インストラクション						礼儀						奇心と学習意欲をそそる。 学校行事の「社团巡礼」で既に行ったアンケート調査の結果を活用し、学生たちに自分の学校の部活に対する理解を深める。 ビデオから部活を紹介する要素をもう一度確認させる。 グループワークでは、役割分担を決めたり、ランダム的に発表者を決めたりするなど、全員参加するよう工夫する。 ポスターで討論の内容をまとめることは考えを具現化させる。 教師がファシリテーターとして、学生たちの学習に手助けをする。	アンケート調査の結果を事前に取り出す。 グループ分けの説明と調整。 抽選用のくじを準備する 発表用のポスターと評価シートを事前に準備する。 学生の誤用や間違いに対して過度な指摘をしないよう心がける。 評価シートを回収し、学
評価要素	組			レベル																																	
		目標を超えた	目標に達した	目標に近い	もう少し努力が必要だ																																
言語																																					
臨機応変																																					
インストラクション																																					
礼儀																																					

		4. ポスター発表（3組ぐらい）（8分） T: はい、そろそろ時間です。発表の方に移りましょう。発表者はグループで誕生日が一番遅い人にしたいと思います。どうですか。最初に発表したいグループありますか。はい、～さんのグループをお願いします。 ➤ グループの代表が発表するとき、メンバー2人が一緒に黒板の前に来て、ポスターを持ってあげてください。いいですか。どうぞ、始めてください。 （先生がコメントする）とってもよかったですね。では、次どのグループですか。 はい、どうぞ。 ... （3組全部発表終了後） 皆さん、お疲れ様でした。どちらのグループも素晴らしいかったですね。では、評価シートを完成し、前に回してください。	ランダム的に発表者を決めることで、学生に適度の緊張感を与え、積極的に参加するよう促す。 3組が代表としてクラスで発表してもらうことで、学生に発表の見本を提供する。 評価シートは学生に発表の時の注意点に気づかせる。また、他人の発表を聞き流すのを防ぐ効果がある。	生たちの意見や考え方を把握する。
2	まとめと宿題	➤ まとめ みなさん、今日は部活を紹介するときの要素と留学生からの質問に答えたり、不安や心配に対策を講じたりすることについて勉強しましたね。皆さんはとてもよく頑張りました。 では、今日の宿題を説明します。グループで考えた部活を紹介する時の表現や回答、対策案を見直し、ポスターをさらに工夫してください。そして、留学生への返事をビデオに撮ってください。ビデオは3分以内に収めてください。 皆さんから集めてきたビデオを日本人留学生に見せます。次回は日本人留学生からの返事やコメントをシェアします。どうぞ頑張ってくださいね。 （評価やコメントを次の授業に持っていく）	返事やコメントなどについては、主導権を日本人に譲り、本当のコミュニケーションを作る。 授業の関連性を考え、一連のタスクを設定し、次の授業に繋がる。 評価の主体を多元化にする。	授業後も続けてフォローし、助言や指摘を与える。
工夫点・アピールポイント（どの部分に力を入れて作成したか、どの部分に注目してほしいかなど） ● 本校で勉強している日本人留学生を利用し、実生活にある課題を出し、学生の日本語の運用力や問題解決能力を上げるよう工夫した。 ● 授業の関連性を統合的に考え、事前の調査やインタビュー、授業後のビデオ撮影や返事、コメントなど、一連のタスクや課題を提出した。 ● 協働学習の理念を生かし、グループで話し合い、みんなの知恵を借りてタスクを完成させた。 ● ポスターを使ったことで、考えが具現化になり、聞き手にわかりやすく伝わった。 ● ビデオや写真などマルチメディアの材料を通して、部活に対する理解を立体化させた。 ● 役割分担やランダム的に発表者を決めるなど、なるべく全員に参加してもらうことに努めた。 ● 返事やコメントなどの主導権を日本人留学生に譲り、リアルな交流体験を提供した。学生たちが作ったビデオは何回も繰り返して利用できる。それが学生たちの学習プロフィールであり、振り				

返りでもある。

- 模造紙で使えるような文型を提示し、グループワークに時間を稼いだ。

★研修会でどんなことを学び、どのように授業に活かしたか。

(例：〇〇の講座で◇◇について学び、授業では△△の部分に取り入れた など)

- 学生たちに日本語を使って、実際の問題を解決するよう設計することを学び、タスクの設定に取り入れた。つまり、学生に同じ学校にいる日本人留学生の部活にインタビューし、彼らに部活を紹介してもらい、返事と対策案を出してもらった。
- 学習目標、学習活動と評価の一体化を考えて授業をデザインした。
- 協同学習の理念を生かすこと。それをグループワークに取り入れた。
- 学生のアウトプットに足場掛けを提供すること。それは授業前の復習に取り入れた。
- 学生の参与度を高めること。それは役割分担や発表者の決め方に取り入れた。
- 模造紙を使うこと。

参加年： 2020 年 / 11 月 研修会名：2020 年长三角地区巡回日语教师研修
2020 年 / 12 月 研修会名：2020 年地域性日语教师研修会